

令和 7 年度地産地消の促進に関する施策等の実施状況について

1 要旨・目的

ひろしま地産地消推進県民条例(平成 23 年広島県条例第 24 号)第 13 条の規定に基づき、令和 7 年度の地産地消の促進に関する施策の実施状況について公表する。

2 現状・背景

施策の実施状況の公表に際し、広島県地産地消促進計画(第 3 次)(令和 3 年 3 月策定)において掲げた「知ってもらう・知る」「作る・届ける」「買う・使う」「つながる」の 4 つの視点で、施策を実施した。

3 令和 7 年度の具体的な実施状況

(1) 【知ってもらう・知る】

取組の方向

- インターネットによる若い世代への積極的な情報発信
- 戦略に基づくイベントや店舗等での効果的な P R
- 食の安全・安心などの普及啓発

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局(課)
ア ひろしま地産地消推進事業	・「ひろしま地産地消ファンクラブ」(ホームページ、SNS)による県産農林水産物や直売所等の情報発信	・ホームページやSNS等で定期的にイベント等の旬な情報を発信した。 ・ホームページ地産地消だより投稿数：103 件(R 6：162 件) ・ホームページPV数：30,776 件(R 6：50,962 件) ・Instagram(インスタグラム)投稿数：496 件(R 6：157 件)フォロワー：2,962 名(R 6：2,134 名) ・Facebook投稿数：104 件(R 6：154 件)フォロワー：5,302 名(R 6：5,334 名) ・X投稿数：94 件(R 6：150 件)フォロワー：2,207 名(R 6：2,511 名)	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
イ ひろしま地産地消推進事業	・広島県 HP で農林漁業体験施設に関する情報発信	・HP 掲載施設数：17 市町 72 施設（R 6：16 市町 70 施設）	農林水産局 (販売・連携推進課)
ウ 6 次産業化総合支援事業（広島県産応援登録制度実施事業）	・審査会に合格した商品の登録 ・登録商品の P R （専用ホームページによる実需者への P R 量販店等でのフェアの開催等による消費者への P R）	・広島県産応援登録制度ウェブサイトで、登録商品等の情報の更新及び発信の継続を行った。 ・登録商品数：340 商品 R 7 新規登録商品数：15 商品 （R 6 新規登録商品数：24 商品） ・商品ページの検索性の向上、旬のカレンダーの更新などによるウェブサイトの改善を行った。 ・広島県産応援登録制度ウェブサイト R 7 年度ページビュー数：203,914 (R 6：240,761)	
エ 食の安全・安心確保対策事業（環境にやさしい農業等推進事業）	・ホテルでのフェアの開催等による消費者への G A P の P R ・G A P 認証の意欲ある経営体への実践研修 ・「安心！広島ブランド」特別栽培農産物の認証及び資材の提供を実施	・ホテルでのフェアで、G A P 商品の販売やのぼり・パンフレットを活用した P R を行った。 ・G A P 認証取得実践研修受講により 6 件の G A P 認証取得につながった。 ・「安心！広島ブランド」特別栽培農産物 新規認証数：168 件（R 6：168 件）	農林水産局 (農業技術課)
オ 食の安全・安心確保対策事業（食品表示指導・監視事業）	・広島県食品の適正表示推進者育成講習会及びフォローアップ講習会の開催 ・食品表示法権限移譲市町等研修会の開催	・食品関係事業者に対して、講習会を実施し、適正な食品表示を推進する核となる人材の育成を図った。 参加者数：134 名（R 6：168 名） ・権限移譲市町研修会を実施した。 実施回数：2 回（R 6：2 回）	
カ 瀬戸内さかなブランド化推進事業	・瀬戸内さかなの認知・評価を高めるため、瀬戸内さかな共感店舗の拡大を進めるとともに、漁業者、流通、飲食等関係者の連携体制の強化やブランド化に向けた情報発信を実施	・季節ごとに「瀬戸内さかなグルメフェア」等を実施しながら、新たなジャンルとして洋食店にも取組を広げることで、共感店舗は概ね目標どおり 48 店舗まで拡大した。 ・瀬戸内さかなの認知・評価を高めるため、品質を重視する「こだわり漁師」を軸とした取組として、厳選された瀬戸内さかなを流通に乗せる新たな競りや、漁業・流通・飲食の各関係者が一体となった価値づくりと魅力発信に取り組んだ。	農林水産局 (水産課)

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
キ 広島和牛ブランド構築事業	比婆牛の営業実証や、味の特長の調査等、広島和牛ブランドの付加価値向上に向けた取組を実施	- 県内高級飲食店 29 店舗（夏）、24 店舗（秋）による年 2 回のグルメフェアによって、新たに 4 店舗が常時取扱店舗となった。 - 現地調査により、比婆牛のおいしさを特徴づける成分を高める仮説に基づく飼養管理手法の確立に着手した。 - 事業ターゲットに親和性の高い媒体で P R、フードフェスティバルへの比婆牛料理の露出などを行い、県内外からの認知度向上につなげた。	農林水産局 （畜産課）
ク 家畜伝染病予防事業	- B S E を疑う症状を呈した死亡牛全頭の B S E 検査実施 - 家畜伝染病予防法に基づく、飼養衛生管理基準の指導やモニタリング調査等の実施	- 死亡牛全頭の届出内容及び B S E 検査により全頭の B S E 陰性を確認した。 届出頭数：950 頭（R 6：1,084 頭） - 飼養衛生管理基準に関する指導を実施した。 指導数：265 農場（R 6：237 農場） - 動物用医薬品の適正使用に関する指導を実施した。 指導数：46 農場（R 6：60 農場） - 高病原性鳥インフルエンザの発生防止のため、モニタリング調査を実施した。 実施数：49 農場（R 6：67 農場）	
ケ 豚熱等の重大な動物感染症対策事業	- 県内で飼養される豚等に対し、豚熱ワクチンの初回接種及び追加接種 - 県内で捕獲された野生いのしし及び発見された死亡いのししの、豚熱等の感染状況調査	- 豚熱ワクチンの接種状況 接種豚：334,568 頭 （R 6：326,358 頭） - 野生いのしし等の感染状況検査 検査数：310 頭 （捕獲いのしし：300 頭中 1 頭陽性） （死亡いのしし：10 頭中 1 頭陽性） （R 6：304 頭）	
コ 漁場環境・生態系保全向上対策事業	貝毒プランクトン調査、貝毒検査の実施	貝毒プランクトン調査や貝毒検査を実施し、食品としての安全性の確保に努めた。	農林水産局 （水産課）

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
サ 「ひろしま環境の日」 行動宣言事業	・「エコ」に取り組む団体の登録や取組内容の情報発信	・「ひろしま環境の日」の趣旨に賛同し、地産地消を含むエコな買い物やエコドライブ・エコ通勤、省エネ生活等に取り組む団体の登録や取組内容等についての情報発信を行った。 登録団体数：1,674 団体（R 6：1,672 件）	環境県民局 （環境政策課）
シ 食育推進事業（食育推進計画推進事業及び普及啓発事業）	・食育推進計画の推進、普及啓発活動	・ひろしま県の味料理集、ベジフルチャレンジ 2025（野菜摂取量を記録し応募するとプレゼントが当たる企画）についてホームページに掲載した。 ベジフルチャレンジ参加者数：697 件（R 6：1,306 件）	健康福祉局 （健康づくり推進課）
ス おいしい！広島推進事業	・「おいしい！広島」ウェブサイトによる情報発信	・県産食材を積極的に活用する飲食店の情報や本県の多彩な食資産を、多様な主体と共創して磨き上げる取組に関する情報を発信した。 おいしい！広島ウェブサイト R 7 年度ページビュー数：302,986（R 6：97,877）	農林水産局 （販売・連携推進課）

【市町・関係団体の取組】

- ・地域ブランド農産物等の普及啓発
- ・地産地消イベント等の開催及び情報発信
- ・認証店制度やマーク等を活用した地場産の可視化
- ・環境にやさしい農業の推進

＜具体的な事例＞

- ・東広島市産米のおいしさを多くの消費者に実感してもらうため、道の駅西条のん太の酒蔵にて東広島市産米を使用したグルメイベント「ぶちうまい！東広島お米フェス 2025」を開催し、約 6,300 人が参加した。（東広島市）
- ・尾道産農林水産物を使用した「2025 尾道おやつコンテスト」を開催。菓子事業者をはじめとする、食品製造販売事業者を対象に、尾道の食材を使用したおやつを公募し、9 事業者 12 作品の応募があった。審査結果を地域情報誌に掲載したほか、チラシ配布による PR を行い、尾道産食材の情報発信に取り組んだ。（尾道市）
- ・広島血統和牛元就や比婆牛などの広島和牛の特徴を紹介した消費者向けのホームページを開設し、広島和牛を取り扱っている飲食店を紹介した。（全農ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7 年度)
県内農産物を意識して購入している人の割合 (全体) (%)	80.6 (R 元)	88.0 (R 7)	現状の高水準を維持
県内農産物を意識して購入している人の割合 (30 歳代以下) (%)	71.9 (R 元)	81.6 (R 7)	80
多少高くても県内産を購入する人の割合 (%)	56.2 (R 3)	55.0 (R 7)	R 3 から 10% 増
G A P 認証経営体数	46 (R 元)	95 (R 7)	156

(2) 【作る・届ける】

取組の方向

- 地域の核となる企業経営体の育成
- スマート農業の実装等による生産性の向上
- 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- 担い手への農地集積と基盤整備
- 中山間地域農業の活性化
- 持続可能な広島和牛生産体制の構築
- かきの安定生産出荷体制の構築
- 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
ア 新規就農者育成総合対策事業	・ 就農準備資金：研修機関で研修を受ける者に対し、就農前研修期間中の所得を確保するため資金交付 ・ 経営開始資金：経営開始後の自営就農者に対し、就農直後の所得を確保するため資金交付	・ 新規就業者数：127 名（農業 89 名、畜産業 38 名） （R 6：111 名（農業 61、畜産業 50 名）） ・ 新規就農者育成総合対策事業利用者数 就農準備資金：11 名（R 6：2 名） 経営開始資金：90 名（R 6：52 名）	農林水産局（農業経営課）
イ 農地中間管理事業	・ 農地中間管理機構の運営及び農地所有者への意向確認等の実施	・ 農地中間管理機構を通じて農地を集積 集積面積：1,896ha（R 6：667ha）	
ウ 農地集積加速化支援事業（機構集積協力金）	・ 担い手への農地集積に協力する者等に対して機構集積協力金を交付	・ 地域集積協力金の交付対象面積：173.58ha（R 6：72.07ha） ・ 集約化奨励金の交付対象面積：27.66ha（R 6：10.17ha）	
エ 経営力向上支援事業（ひろしま農業経営者学校）	・ 意欲ある農業経営者に対する経営者意識の醸成及び経営スキルの向上を目的とした研修の実施	・ ひろしま農業経営者学校の 6 コース（農業経営入門コース、水稻経営コース、農業経営コース、雇用準備コース、現場リーダー養成コース、企業経営コース）を実施した。 修了者数：32 名（R 6：36 名）	

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
オ 経営力向上 支援事業（企 業経営実践支 援のうち農業 経営・就農サ ポート推進事 業）	・経営発展の過程で直面 する課題解決に向けた 専門家派遣による支援	・中小企業診断士や社会保険労務士 などの専門家を派遣し、法人化や 雇用・労務管理など、経営体の個 別課題の解決に向けた支援を実施 した。 ・専門家派遣経営体数：38 経営体 （R 6：40 経営体）	農林水産局 （農業経営課）
カ ひろしま型 スマート農業 推進事業	・ひろしま型スマート農 業技術の確立と経営モデ ルの構築に向けた実証試 験を実施 ・実証技術のトライアル 利用を実施し、スマート 農業の普及を図った。 ・「ひろしまスマート農業 推進協議会」が農業者等 を対象に、セミナー等を 開催し、スマート農業の 普及啓発を実施	・ひろしま seedbox で実証した技術 のうち、有利販売に向けた収穫予 測システムについてトライアル利 用を実施し、スマート農業の普及 を図った。 （軟弱野菜、カット用青ねぎ、ト マト） トライアル利用者数：31 件 ・中山間地域に対応したスマート農 業を確立し、普及していくため、 実証フィールドを設け、プロジェ クトを行った。 地区数等：9 地区 （R 3 年度実証開始） 安芸太田町：ほうれんそうなど軟 弱野菜 東広島市：カット用青ねぎ 世羅町：ぶどう （R 4 年度実証開始） 呉市：トマト 尾道市：レモン等かんきつ 安芸高田市：水稻 （R 5 年度実証開始） 三次市：アスパラガス 庄原市、世羅町：なし、りんご等 落葉果樹 東広島市：畜産 ・農業者等に協議会への会員登録を 促すとともに、スマート農業技術 の動向や実証事業の取組を紹介す るセミナー等を 7 回開催した。 協議会登録数：666 名 （農業者 199 名、企業等 467 名） （R 6：588 名）	農林水産局 （農業技術課）

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
キ 園芸作物条件整備事業	・担い手による園芸作物導入や規模拡大を図るうえで支障となっている耕作条件を改善する簡易整備事業の支援	・土層改良や排水対策を支援し、園芸作物の面積拡大、単収向上に取り組んだ。 経営体数：8 経営体（4 市町） （R 6：8 経営体（4 市町）） 取組面積：4.6ha （R 6：10.1ha）	農林水産局 （農業生産課）
ク 農業技術大 学校事業	・短期インターンシップを行うとともに、最先端のスマート農業機器を導入し、生産から販売まで一貫した技術体系の習得を図る ・年2回オープンキャンパスを実施	・短期インターンシップ参加者1年生：20名 （R 6：29名） ・オープンキャンパス 実施回数：2回（6/21、8/5） （R 6：2回） 参加者数：74名（高校生等） （R 6：49名）	農林水産局 （農業技術課）
ケ 県営ほ場整備事業	・水田を畑地として利用できるよう、明渠や暗渠の設置や緩やかな傾斜をつけるなどの排水対策等を実施 ・機械の移動時間や旋回時間の短縮による省力化が図られるよう、農地の大区画化や再整備，農道・水路・畦畔の改良等を実施	・園芸用作物を導入するために整備した農地面積：30.9ha （R 6：33.4ha）	農林水産局 （農業基盤課）
コ 中山間地域等直接支払事業	・傾斜等の農業生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持・管理していくための農業生産活動等に対して支援を実施	・中山間地域等直接支払事業の取組面積：19,120ha （R 6：20,449ha）	
サ 農業・農村多面的機能支払事業	・多面的機能を支える共同活動を行う集落等に対して支援を実施 ・地域資源の質的向上を図る活動や、農業用施設の長寿命化を図るための活動に対して支援を実施	・農業・農村多面的機能支払事業の取組面積：18,507ha （R 6：18,558ha）	

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
シ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業	- 鳥獣被害対策プログラムを通じた市町への対策支援（対策技術向上の研修会開催、被害対策実施のための講師派遣、新技術に関する情報提供等） - 鳥獣被害対策を安定化するプロフェッショナル組織「一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構（通称テゴス）」への市町の参画促進	- 市町が計画した鳥獣被害対策の実施に当たり、県へ求める支援内容等を記した鳥獣被害対策プログラムが県に提出された。 作成市町数：22 市町 （R 6：22 市町） - 集落等の指導に必要な被害対策技術を習得したい市町担当者等を対象に、鳥獣被害対策アドバイザースキルアップ研修を実施したほか、随時新技術の情報提供や、地域で開催される研修会へ要請に基づき講師を派遣した。 スキルアップ研修実施回数：8 回 ※対象：地域で対策を指導する者（市町職員など） 受講者数：延べ 403 名 （R 6：8 回、延べ 332 名） - 全未参画市町を訪問し、担当者及び希望する市町の首長等にテゴス参画のメリット等を説明した。 参画市町数：10 市町 （R 6：10 市町）	農林水産局 （農業生産課）
ス 広島和牛経営発展促進事業（経営力向上集中支援事業）	人材育成から予算管理まで学び、畜産業の持続的成長を支える経営管理セミナーの開催	- 地域セミナー：3 回 （R 6：4 回） - 県域セミナー：2 回 （R 6：1 回）	農林水産局 （畜産課）
セ 広島和牛経営発展促進事業（広島血統和牛増産事業）	- 高い受胎率が期待できる和牛受精卵（ガラス化ダイレクト卵）の供給 - 酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定に係る取組の推進	- 高い受胎率が期待できる和牛受精卵を供給した。 和牛受精卵移植頭数：571 頭（R 6：423 頭） - 受精卵産子の県外流出を防ぐため、県内酪農経営体から県内肥育経営体への直接取引の拡大を図った。 直接取引頭数：66 頭 （R 6：149 頭）	

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
ソ 水産スマート化推進事業（水産資源の回復）	・デジタル技術の活用による水産資源回復に向けた漁場改善により、瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制を構築	・海底耕うん後の環境改善効果を検証するため、底質及び餌生物を経時的に調査した。 地区数：3 地区 （R 6：3 地区）	農林水産局 （水産課）
タ 水産スマート化推進事業（海面漁業におけるデジタルの活用）	・ICTを活用した新規漁業者への技術習得支援（漁業者グループにおける操業情報の蓄積及び、蓄積された操業情報に基づく研修プログラムの開発及び技術習得の支援）	・漁業者グループにおける操業情報の蓄積・共有を行い、操業の効率化等の技術習得を支援した。 地区数：6 地区（R 6：4 地区）	
チ 水産スマート化推進事業（かき養殖におけるデジタル技術の活用）	・デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化により、かきを安定的に供給する体制を構築	・既設の水温・餌料センサーに塩分も加え追加でセンサーを配置するとともに、これらデータを確認できる WEB アプリにかきのへい死危険度や身入り予測を確認できる機能を追加した。 設置数：15 基（水温） 7 基（餌料） 3 基（塩分） （R 6：15 基（水温）、5 基（餌料））	
ツ 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築	・水産エコラベル認証取得の推進	・水産エコラベルの認証地区数の増加に向けて、生産者等へ説明会を実施し、認証取得を促した。 説明会数：3 回（R 6：5 回）	

【市町・関係団体の取組】

- ・新規就農者の技術習得や就農に必要な施設等の整備支援
- ・担い手に対する施設・機械等整備支援
- ・担い手に対する農地集積・基盤整備支援
- ・生産振興・安定供給等支援

＜具体的な事例＞

- ・三次市産野菜及び果樹等の学校給食への提供や市内直売施設等での販売を目的として取り組む生産者の植栽条件整備・機械導入に対し補助を行った結果、5 件の活用実績があった。（三次市）
- ・神石牛血統の増頭と畜産農家の所得向上・経営安定化のための経済的支援（保留導入奨励、血統奨励、飼料用 WCS 購入費用助成）を実施した。（神石高原町）
- ・海面資源の維持のため、重点魚種を中心とした種苗を放流に係る費用を一部補助した。（広島市、坂町、呉市、江田島市、三原市、尾道市、福山市）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標 (R 7 年度)
キャベツの県内消費量に占める県内産割合 (%)	30.2 (H30)	21.2 (R 7)	46
米の県内消費量に占める県内産割合 (%)	73.0 (R 2)	75.1 (R 7)	80
広島和牛の県内向け出荷頭数 (頭)	3,100 (R 元)	3,668 (R 7)	3,460
水産物の県内市場における県内産割合 (%)	21.8 (R 元)	21.0 (R 7)	24
かき生産量 (むき身) (トン)	16,100 (R 元)	16,900 (R 6)	20,000

(3) 【買う・使う】

取組の方向

- 量販店・直売所における売場の魅力向上
- 学校における食育と給食での利活用の促進
- 飲食店等における地場産の可視化・多言語化
- フードバンク等における利活用の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
ア ひろしま地産地消推進事業	・量販店内の県産農産物常設売場の演出支援 ・地産地消啓発キャンペーンの実施 ・生産者側とフードバンクや子ども食堂などをつなぐ取組 ・学校給食における地場産物活用の促進	・直売所等の魅力向上のため、専門家が店舗巡回し陳列方法等について指導・助言を行った。 巡回：4～3月に計12回 (R 6：7～11月に計3回) ・産直市担当者等を対象に、売場の魅力向上に向けた会議を開催した。 開催施設数：1施設(R 6：4施設) ・キャンペーンの応募総数は増加した。 実施期間：7/1～9/30 応募総数：2,953通 (R 6：2,630通) 30歳代以下応募人数：354名 (R 6：379名) ・県内フードバンク等施設の連絡先等を調査した。 ・関係機関へのヒアリング・PR、県ホームページへの掲載により、フードバンクの取組に係る周知を図った。 掲載施設数：フードバンク9施設、子ども食堂1施設 (R 6：フードバンク8施設、子ども食堂1施設) ・県教育委員会と連携して、意見交換会及び協議を実施し、学校給食における地場産物活用促進への働きかけを推進した。 意見交換会実施市町：府中町、海田町、坂町、熊野町 ・海田町における地場産物の活用に向け、栄養教諭等とJAひろしまとの県産試食会を開催した。	農林水産局 (販売・連携推進課)

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
イ おいしい！ 広島推進事業	県産食材を積極的に活用している店舗の可視化・多言語化	- 県産食材を活用したメニューや商品を堪能できる店舗を「おいしい！広島食べんさい店」として、ホームページにて多言語（8か国語）で情報発信した。 - 卓上のぼりとステッカーの登録店舗への配布や、「おいしい！広島公式ロゴマーク」の活用による「地場産」の可視化を実施した。 登録店舗数：1,400 店舗	農林水産局 (販売・連携推進課)
ウ 6次産業化 総合支援事業 (広島県産応援登録制度実施事業)	広島県産応援登録事業者を対象とした、販売力の強化支援（商品提案力・商談力の獲得、営業力の強化、取引先の信頼関係の構築等）	- 販売アドバイザーによる登録事業者の販売課題に応じた個別相談やパッケージブラッシュアップを実施した。 個別相談回数：32 回 （R 6：48 回） パッケージブラッシュアップ件数：2 件（R 6：1 件） - 県内外百貨店向け商談会および産地視察や、県内飲食店向け展示商談会を実施した。 商談会・産地視察実施回数：3 件（R 6：3 回）	
エ 地場産業等 振興事業 (BUYひろしまキャンペーン事業)	- BUYひろしまキャンペーン（県内製品愛用運動）の実施 - 県内各地でのイベントへの PR ブース出展 - ホームページやのぼり掲出、店内展示、デジタル素材の放映などを通じた普及啓発	- BUYひろしま強化月間（県産製品の愛用推進・消費拡大 PR キャンペーン）を実施した。 実施次期：7 月、12 月 - イベントへの出展及び支援を行った。 回数：4 回（R 6：4 回） - マツダスタジアム内の大型ビジョンで PR 動画を放映した。（4～6 月） 映像放映回数：13 回（R 6：7 回） - SNS 発信等を通じた県内製品の紹介等を実施した。	商工労働局 (観光課)

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
オ 地域と連携した食育の推進	・教科等における農林水産物の栽培・収穫体験の実施及び I C T 等による給食に使われている地場産物・郷土料理等の紹介や、地域の関係者と連携した調理実習の実施 ・食に関する専門家等を招聘した出前講座の実施	・栄養教諭や学校栄養職員を対象とした研修において、学校における、地域の生産者等と連携した取組実践事例等を紹介した。 ・専門家による出前講座を実施した。 実施校数：26 校（R 6：29 校）	教育委員会 事務局 (豊かな心と体育成課)
カ ひろしま給食推進プロジェクト	・広島県産の食材を活用した給食メニューの開発 ・開発したメニューの全国学校給食週間等での提供 ・食育教材の開発・活用及び、給食の時間における I C T 等による給食に使われている地場産物や郷土料理等の紹介	・広島県産食材を使用した「ひろしま給食」メニューを開発しホームページに掲載するとともに S N S 等で広報を行った。 ・給食を実施している県立学校及び各市町教育委員会へ「ひろしま給食」メニューの給食用レシピを提供した。 ・地場産物（トマト）を活用した食育教材動画及び「ひろしま給食」統一メニューのレシピ動画を作成し、ホームページに掲載するとともに、各県立学校及び市町教育委員会へ情報提供することによって、各学校での活用を促した。	
キ 給食内容の充実・学校給食を活用した食育の推進	・学校給食における地場産物活用促進への働きかけを推進	・意見交換会（海田町）において、給食用の野菜の確保等に向けた取組について協議を進めた。 意見交換会の実施：海田町開催 1 回	

【市町・関係団体の取組】

- ・売り場の魅力向上支援
- ・企業等との連携による地元農林水産物の利活用促進
- ・教育機関と連携した取組
- ・食育の取組
- ・学校給食への地元農林水産物の利用促進等
- ・地場産の可視化支援

<取組事例>

- ・道の駅びんご府中産直市にて、府中市産農産物を使用したメニューを試食として 2 回（冬至イベント、七草粥イベント）提供し、魅力を P R した。（府中市）
- ・世羅町産の食材についての知識及び地元を愛する気持ちや生産者への感謝の気持ちを深めることを目的として、毎月 19 日を「せらのふるさと給食の日」に設定し、世羅町産の食材や生産者の思いを紹介するとともに、児童生徒から生産者へ感謝のメッセージカードを作成した。（世羅町）

- ・市内で生産される新鮮で安心な野菜を学校給食に安定供給するため、給食の需要量を可視化するシステムを開発するとともに、関係者の連携（生産者・市場・給食）強化及び支援を行った。これにより、給食への地場野菜の供給拡大及び農家所得の向上並びに地域農業の振興を図った。（東広島市）
- ・スーパーや量販店で広島県産フェアや県産商品をPRするためのクロスMD販売を実施した（広島県フェア：6社と年間32回。単品（アスパラ、ぶどう等）試食宣伝：3社と3回。調味料メーカーとのクロスMD販売：5社と10回。）。（全農ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標（R7年度）
直売所の売上（億円）	130（H30）	164（R6）	150
学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）（％）	58.1（R元）	61.8（R7）	現状値よりも維持向上

(4) 【つながる】

取組の方向

- イベント開催など交流機会の拡充
- 交流・協働の促進
- 移住の促進

【県の主な施策と取組成果】

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
ア 食のイノベーション推進事業	・ 6次産業化の支援や規格外品の活用、農作物の付加価値向上により、新たな県産野菜の販売先を開拓する事業者を採択し、活動を支援	・ 農産物を活用した商品開発、ブランド化、未利用資源の活用を行う事業者を採択し、活動を支援した。 （米粉ドーナツを主軸としたスイーツブランドの確立、ハーブティーの商品開発、規格外農産物の買取り販売） ・ 本事業によって経営発展に取り組む経営体数：11 経営体	農林水産局 (販売・連携推進課)
イ ひろしま地産地消推進事業	・ 管理栄養士等の養成課程のある大学等を対象とした県産農林水産物を活用したレシピ開発・PRの支援 ・ 生産者と消費者の交流の場の提供	・ 県産農林水産物活用によるレシピ開発や、農林漁業者・消費者等との交流やPRを実施した。 事業実施大学等数：8校 （R 6：9校） ・ 第1・第3金曜日に、JR 広島駅北口1階エキエキッチン前で、「みのりみのるマルシェ」を開催した。 実施期間：4/4～3/20 計 24 回 （R 6：計 20 回） 出展者：累計 42 者 （R 6：累計 29 社）	
ウ ひろしまフードフェスティバル開催事業	・ 生産者と消費者、都市と農村の幅広い人々の交流の促進と地域特産物や農山漁村の魅力の情報発信	・ 県内市町やJAグループ、「おいしい！広島」のブースを中心に地産地消PRを実施した。 入場者数：22.0 万人（2日間） （R 6：22.4 万人）	

事業名等	事業内容	R 7 取組の実施状況および成果	担当局（課）
エ ひろしま スタイル定 住促進事業	・ウェブやチャットボット等のデジタル技術を最大限活用し、情報提供及び相談対応の強化を図ることで、移住を検討している層又は移住に関心がある層に対して「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進	・移住・定住につなげる仕組みづくりを進めた。 県外からの移住世帯数：718 世帯 （R 6：712 世帯） 相談件数：3,527 件 （R 6：3,914 件） HIROBIRO. ユーザー数（広告流入分を除く）：104,020 人	地域政策局 （地域力創造課）

【市町・関係団体の取組】

- ・生産者と消費者との交流促進
- ・移住推進支援
- ・テレビ、ホームページ、広報誌等を活用した県内農業等の情報発信

＜取組事例＞

- ・備後圏域でのワイン消費を拡大するため、備後や福山のワインを一堂に集め、備後福山ワインの美味しい飲み方講座及び、子ども向けのイベントを実施し、参加者・ワイナリー・飲食店が一体化してワインの魅力を発信する屋外イベントを10月に実施した。
また、前夜祭イベントとして福山城天守最上階で備後福山ワインと備後フィッシュのペアリング調理を提供した（来場者数：3,600人）。（福山市）
- ・農業振興センターのイベントとして、玉葱、馬鈴薯の収穫体験を実施した（参加者：早生玉葱 212名、中生玉葱 247名、馬鈴薯 145名）。（呉市）
- ・耕畜連携・資源循環ブランド3-Rのお米生産者の圃場で田植え・稲刈り体験会を実施した（田植え体験、苗植え体験、稲刈り体験各1回）。（全農ひろしま）

【目標値に係る現況】

指標	計画策定時(年度)	直近値(年度)	目標（R 7 年度）
年間総観光客数（全域過疎市町）（万人）※暦年	1,543（R 元）	1,351（R 7）	R 4 までに 1,709 R 4 以降も同水準を維持
農林漁業体験を行った人の割合（％）	22.7（H29）	21.7（R 5）	R 5 までに 30 以上
農林漁業体験を経験したことがある若い世代（40歳代以下）の割合（％）	－	7.8（R 6）	R11 までに 50 以上